

予算科目	4 款	保健事業費	事業名	生活習慣病予防事業																																			
	1 項	特定健康診査等事業費		総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																	
	1 目	特定健康診査等事業費			第 4 節	誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進																																	
	事業	特定健康診査等事業費（国民健康保険事業特別会計）			（ 1 ）	健康づくりを推進する																																	
担当部課		保健福祉部保険年金課		実施計画掲載ページ		P 53																																	
目的及び事業内容			高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、糖尿病等生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、国民健康保険に加入している40歳から74歳を対象にメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施する。 該当事者に対し生活習慣病を改善するための特定保健指導を行うとともに、医療機関と連携した保健指導の実施により生活習慣病重症化の予防を図る。																																				
取 組 実 績			1 特定健康診査 (1) 対象者 40～74歳の国民健康保険加入者 21,340人（令和7年4月1日現在） (2) 受診者 9,462人（受診率：44.3%） (3) 未受診者対策 受診勧奨通知発送※重複あり 実数：11,508人のうち3,419人（29.7%）が受診 ①まだら受診者（各5年間の受診歴による） 4,943人 ②40～44歳の被保険者で健診受診歴がない者 295人 ③年度内未受診者再勧奨 8,419人 (4) 健診ポイント事業 40～74歳の特定健診受診者に対し、健診等の受診状況に応じ抽選で、200人に当選通知を送付。回答のあった181人に地場産品や健康グッズなどを送付 (5) その他の取組事項 医師会医療機関等への周知依頼（勧奨ポスター、チラシ配付） 2 特定保健指導（メタボリックシンドローム該当者への保健指導） (1) 対象者 国の基準による対象者（積極的支援、動機づけ支援） 1,034人 (2) 実施者 288人（実施率：27.9%） 3 その他の保健指導 特定健診の結果、虚血性心疾患や慢性腎臓病等の発症や重症化の予防を目的に、下記の事業を実施 (1) 医療機関と地域保健の連携の取組 医療機関への受診勧奨と医師の指示による保健指導 <table><tr><td>対象者</td><td>受診確認者数</td><td>保健指導対象者</td><td>保健指導実施者</td></tr><tr><td>749人</td><td>415人（55.4%）</td><td>96人（23.1%）</td><td>82人（85.4%）</td></tr></table> (2) 重症化予防の取組 特定健診結果に合わせた保健師、栄養士による保健指導 対象者 2,148人 実施者 947人（実施率：44.1%）					対象者	受診確認者数	保健指導対象者	保健指導実施者	749人	415人（55.4%）	96人（23.1%）	82人（85.4%）																								
対象者	受診確認者数	保健指導対象者	保健指導実施者																																				
749人	415人（55.4%）	96人（23.1%）	82人（85.4%）																																				
成 果			特定健康診査及び特定保健指導等の実施により、生活習慣病の早期発見や重症化の予防が図られた。 特定健康診査受診率 <table><tr><td>区分</td><td>目標</td><td>実績</td><td>達成率</td></tr><tr><td>R5</td><td>58.5%</td><td>42.6%</td><td>72.8%</td></tr><tr><td>R6</td><td>50.0%</td><td>43.5%</td><td>87.0%</td></tr><tr><td>R7</td><td>55.0%</td><td>44.3%</td><td>80.5%</td></tr></table> 特定保健指導実施率 <table><tr><td>区分</td><td>目標</td><td>実績</td><td>達成率</td></tr><tr><td>R5</td><td>60.0%</td><td>28.3%</td><td>47.2%</td></tr><tr><td>R6</td><td>40.0%</td><td>30.3%</td><td>75.8%</td></tr><tr><td>R7</td><td>50.0%</td><td>27.9%</td><td>55.8%</td></tr></table>					区分	目標	実績	達成率	R5	58.5%	42.6%	72.8%	R6	50.0%	43.5%	87.0%	R7	55.0%	44.3%	80.5%	区分	目標	実績	達成率	R5	60.0%	28.3%	47.2%	R6	40.0%	30.3%	75.8%	R7	50.0%	27.9%	55.8%
区分	目標	実績	達成率																																				
R5	58.5%	42.6%	72.8%																																				
R6	50.0%	43.5%	87.0%																																				
R7	55.0%	44.3%	80.5%																																				
区分	目標	実績	達成率																																				
R5	60.0%	28.3%	47.2%																																				
R6	40.0%	30.3%	75.8%																																				
R7	50.0%	27.9%	55.8%																																				
成果に係る評価			特定健康診査受診率の向上を図るため、未受診者に対して個別に受診勧奨通知を送付したほか、医療機関等でのポスターの掲示やホームページにより周知を行った。また、自己負担額無料化の継続や、関係機関の協力により夜間・土曜健診を実施し、受診しやすい環境整備に努めるとともに、健診受診者に対し、インセンティブとして健診ポイント事業を実施するなどの取組を行い、受診率はやや向上した。 特定保健指導については、直営での実施に努めたが実施率は低下した。 また、健診後のフォローとして、特定保健指導や健診結果に合わせた重症化予防の取組を実施した。 特定健康診査及び特定保健指導等は生活習慣病の発症や重症化予防に寄与していることから、今後も事業を継続する必要がある。																																				
(単位：円)																																							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
				国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																
		130,019,000	127,697,792	78,541,805			49,155,987																																

予算科目	4 款	保健事業費	事業名				国民健康保険人間ドック等事業																																																									
	2 項	保健事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																											
	1 目	保健衛生普及費		第 4 節	誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進																																																											
	事業	保健衛生普及費（国民健康保険事業特別会計）		（ 1 ）	健康づくりを推進する																																																											
担当部課		保健福祉部保険年金課		実施計画掲載ページ			P 53																																																									
目的及び事業内容		生活習慣病をはじめとする疾病等の早期発見、予防及び受診の促進を図るとともに、生活習慣の改善や健康に対する意識及び特定健康診査の受診率の向上に寄与することを目的として、国民健康保険に加入している40歳、45歳、50歳、55歳及び60歳を対象に人間ドックを実施し、45歳及び50歳を対象に脳ドックを実施する。																																																														
取 組 実 績		1 人間ドック事業 対象者 1,499人 受診者 315人 （受診率：21.0%） 2 脳ドック事業 対象者 580人 受診者 118人 （受診率：20.3%） 3 特定保健指導（人間ドック受診者分） 対象者 79人 実施者 34人 （実施率：43.0%） 【年齢別受診率】 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">人間ドック</th><th colspan="3">脳ドック</th></tr><tr><th>対象者</th><th>受診者</th><th>受診率</th><th>対象者</th><th>受診者</th><th>受診率</th></tr><tr><td>40歳</td><td>230人</td><td>55人</td><td>23.9%</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>45歳</td><td>278人</td><td>59人</td><td>21.2%</td><td>278人</td><td>56人</td><td>20.1%</td></tr><tr><td>50歳</td><td>302人</td><td>61人</td><td>20.2%</td><td>302人</td><td>62人</td><td>20.5%</td></tr><tr><td>55歳</td><td>332人</td><td>70人</td><td>21.1%</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>60歳</td><td>357人</td><td>70人</td><td>19.6%</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>1,499人</td><td>315人</td><td>21.0%</td><td>580人</td><td>118人</td><td>20.3%</td></tr></table>								区分	人間ドック			脳ドック			対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	40歳	230人	55人	23.9%				45歳	278人	59人	21.2%	278人	56人	20.1%	50歳	302人	61人	20.2%	302人	62人	20.5%	55歳	332人	70人	21.1%				60歳	357人	70人	19.6%				合計	1,499人	315人	21.0%	580人	118人	20.3%
区分	人間ドック			脳ドック																																																												
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率																																																										
40歳	230人	55人	23.9%																																																													
45歳	278人	59人	21.2%	278人	56人	20.1%																																																										
50歳	302人	61人	20.2%	302人	62人	20.5%																																																										
55歳	332人	70人	21.1%																																																													
60歳	357人	70人	19.6%																																																													
合計	1,499人	315人	21.0%	580人	118人	20.3%																																																										
成 果		生活習慣病をはじめとする疾病の早期発見及び受診の促進が図られた。 人間ドック受診率 <table><tr><th>区分</th><th>目標</th><th>実績</th><th>達成率</th></tr><tr><td>R5</td><td>30.0%</td><td>20.6%</td><td>68.7%</td></tr><tr><td>R6</td><td>30.0%</td><td>22.2%</td><td>74.0%</td></tr><tr><td>R7</td><td>30.0%</td><td>21.0%</td><td>70.0%</td></tr></table> 脳ドック受診率 <table><tr><th>区分</th><th>目標</th><th>実績</th><th>達成率</th></tr><tr><td>R5</td><td>26.0%</td><td>15.5%</td><td>59.6%</td></tr><tr><td>R6</td><td>26.0%</td><td>19.2%</td><td>73.8%</td></tr><tr><td>R7</td><td>26.0%</td><td>20.3%</td><td>78.1%</td></tr></table> 特定保健指導実施率（人間ドック受診者分） <table><tr><th>区分</th><th>目標</th><th>実績</th><th>達成率</th></tr><tr><td>R5</td><td>60.0%</td><td>32.4%</td><td>54.0%</td></tr><tr><td>R6</td><td>40.0%</td><td>33.3%</td><td>83.3%</td></tr><tr><td>R7</td><td>50.0%</td><td>43.0%</td><td>86.0%</td></tr></table>								区分	目標	実績	達成率	R5	30.0%	20.6%	68.7%	R6	30.0%	22.2%	74.0%	R7	30.0%	21.0%	70.0%	区分	目標	実績	達成率	R5	26.0%	15.5%	59.6%	R6	26.0%	19.2%	73.8%	R7	26.0%	20.3%	78.1%	区分	目標	実績	達成率	R5	60.0%	32.4%	54.0%	R6	40.0%	33.3%	83.3%	R7	50.0%	43.0%	86.0%							
区分	目標	実績	達成率																																																													
R5	30.0%	20.6%	68.7%																																																													
R6	30.0%	22.2%	74.0%																																																													
R7	30.0%	21.0%	70.0%																																																													
区分	目標	実績	達成率																																																													
R5	26.0%	15.5%	59.6%																																																													
R6	26.0%	19.2%	73.8%																																																													
R7	26.0%	20.3%	78.1%																																																													
区分	目標	実績	達成率																																																													
R5	60.0%	32.4%	54.0%																																																													
R6	40.0%	33.3%	83.3%																																																													
R7	50.0%	43.0%	86.0%																																																													
成果に係る評価		人間ドック及び脳ドックの受診率向上を図るため、ホームページで周知したほか、対象者へ個別通知を行い、人間ドック及び脳ドックの受診率はほぼ横ばいだった。 人間ドックの健診結果により、特定保健指導や受診勧奨を実施し、40歳で初めて人間ドックを受診した方に対しては、継続的な健診受診の機会となるよう、健診結果の見方や受診の必要性を説明するなどの取組を実施した。 人間ドック及び脳ドックは、生活習慣病をはじめとする疾病の早期発見、治療、発症及び重症化予防に寄与していることから、今後も事業を継続する必要がある。																																																														
(単位：円)																																																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																											
					国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																																								
	15,769,660		12,980,588					12,980,588																																																								

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		機能訓練訪問事業																														
	1 項	介護予防・生活支援サービス事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																														
	1 目	介護予防・生活支援サービス事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																														
	事業	機能訓練訪問事業費（介護保険事業特別会計）		（ 2 ）	介護予防等の取組を推進する																														
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 47																													
目的及び事業内容		体力の改善に向けた支援が必要なケースや、日常生活動作等の改善に向けた支援が必要なケースに対し、理学療法士と連携しながら、看護師等が在宅にて短期集中的に相談・指導を行い、日常生活の支援を図る。																																	
取 組 実 績		地域包括支援センターが作成した介護予防プランに基づき、日常生活動作等の改善に向けた支援について、理学療法士及び看護師が連携しながら、在宅にて短期集中的（3～6か月）に相談・指導を実施した。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">訪問実人数</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">訪問延べ回数</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th><th>指導員</th><th>リハビリ専門職</th></tr><tr><td>R 5</td><td>40人</td><td>20人</td><td>50.0%</td><td>248回</td><td>108回</td></tr><tr><td>R 6</td><td>40人</td><td>22人</td><td>55.0%</td><td>246回</td><td>110回</td></tr><tr><td>R 7</td><td>40人</td><td>20人</td><td>50.0%</td><td>209回</td><td>84回</td></tr></table>						年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数		目標値	実績	指導員	リハビリ専門職	R 5	40人	20人	50.0%	248回	108回	R 6	40人	22人	55.0%	246回	110回	R 7	40人	20人	50.0%	209回	84回
年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数																															
	目標値	実績		指導員	リハビリ専門職																														
R 5	40人	20人	50.0%	248回	108回																														
R 6	40人	22人	55.0%	246回	110回																														
R 7	40人	20人	50.0%	209回	84回																														
成 果		本事業の申請者となる地域包括支援センターから本事業の申請数が少なかったことにより、成果指標である訪問指導員の訪問回数が減少した。 また、訪問型介護予防事業から本事業へつながった件数も少なかった。 本事業利用者に対して、理学療法士が適切な身体機能の評価や専門的な指導を実施したことにより、利用者が持つ身体の痛みの軽減、体操の習慣化が図られた。 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">訪問指導員の訪問指導回数</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R 5</td><td>180回</td><td>248回</td><td>137.8%</td></tr><tr><td>R 6</td><td>270回</td><td>246回</td><td>91.1%</td></tr><tr><td>R 7</td><td>270回</td><td>209回</td><td>77.4%</td></tr></table>						区分	訪問指導員の訪問指導回数		達成率	目標値	実績	R 5	180回	248回	137.8%	R 6	270回	246回	91.1%	R 7	270回	209回	77.4%										
区分	訪問指導員の訪問指導回数		達成率																																
	目標値	実績																																	
R 5	180回	248回	137.8%																																
R 6	270回	246回	91.1%																																
R 7	270回	209回	77.4%																																
成果に係る評価		本事業の申請者となる地域包括支援センターで本事業の申請状況に差がみられる。特に旧市外を管轄する地域包括支援センターからの申請が少ない状況である。 今後、本事業の対象となる高齢者を各介護予防事業の利用者から地域包括支援センターと選定し、本事業につなげることで利用者数の増加を図る。 身体機能が低下している在宅高齢者を本事業につなげることで介護予防が図られるため、事業を継続する必要がある。																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																													
	2,359,000	678,446	292,679		267,987	117,780																													

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		通所型サービス支援事業																																
	1 項	介護予防・生活支援サービス事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																
	1 目	介護予防・生活支援サービス事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																
	事業	通所型サービス支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 2 ）	介護予防等の取組を推進する																																
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 47																															
目的及び事業内容		65歳以上の要支援者及び事業対象者を中心に体操や運動等の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくりとして、定期的なサロン等を提供する住民主体の個人や団体に対して補助金を交付することにより、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び要介護状態の予防並びに地域の支え合い体制を推進する。 ※事業対象者とは、介護認定で非該当になった方や介護認定を受けていない方で、生活機能に関する「基本チェックリスト」の実施により該当した者。																																			
取 組 実 績		1 補助要件 ・事業を6か月以上継続して実施 ・概ね週1回以上実施 ・1回当たりの事業実施時間が概ね2時間以上 ・1回当たりの平均利用者のうち要支援者等が5人以上であること。 2 補助金額 補助金額要支援者等の利用者1人当たり1回1,000円（月額上限50,000円）																																			
成 果		活動延べ回数が前年度より増加したことに伴い、延べ利用者数も増加し、通所型サービス支援事業を継続的かつ安定的に実施することができた。 また、要支援者及び事業対象者等が事業を利用することで、心身の健康保持や介護予防の推進が図られ、住み慣れた地域において安心して生活を継続するための支援につながった。 補助交付件数 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">交付対象 団体</th><th rowspan="2">活動延べ 回数</th><th colspan="2">延べ利用者数</th><th rowspan="2">達成率</th><th rowspan="2">補助金 交付額</th></tr><tr><th>目標</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>2団体</td><td>147回</td><td>720人</td><td>928人</td><td>128.89%</td><td>714,000円</td></tr><tr><td>R6</td><td>2団体</td><td>145回</td><td>1,200人</td><td>1,207人</td><td>100.58%</td><td>921,508円</td></tr><tr><td>R7</td><td>2団体</td><td>157回</td><td>1,200人</td><td>1,302人</td><td>108.50%</td><td>1,120,984円</td></tr></table>						年度	交付対象 団体	活動延べ 回数	延べ利用者数		達成率	補助金 交付額	目標	実績	R5	2団体	147回	720人	928人	128.89%	714,000円	R6	2団体	145回	1,200人	1,207人	100.58%	921,508円	R7	2団体	157回	1,200人	1,302人	108.50%	1,120,984円
年度	交付対象 団体	活動延べ 回数	延べ利用者数		達成率	補助金 交付額																															
			目標	実績																																	
R5	2団体	147回	720人	928人	128.89%	714,000円																															
R6	2団体	145回	1,200人	1,207人	100.58%	921,508円																															
R7	2団体	157回	1,200人	1,302人	108.50%	1,120,984円																															
成果に係る評価		活動延べ回数及び延べ利用者数が増加しており、地域ニーズに応じた活動が継続的に実施されたものと評価できる。半島部のサービス資源が限られる地域においては、市民主体による身近な通いの場として重要な役割を担っており、高齢者の社会参加や交流機会の確保に寄与していると評価できる。 本事業は、介護予防ケアマネジメントにより支援が必要とされた方を対象としており、運営にあたっては従事者等の秘密保持、衛生管理・健康管理、事故対応等について適切な体制を整える必要があることから、通常のサロン活動に比べて運営上の負担が大きいが、今後もサロン団体等が増えるように事業の周知を図っていく。																																			
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																
					国（県）支出金	地方債	その他																														
	1,210,000		1,126,984		486,178		445,159																														
						事業収入	195,647																														

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		通所型介護予防事業																																		
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																		
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																		
	事業	通所型介護予防事業費（介護保険事業特別会計）		（ 2 ）	介護予防等の取組を推進する																																		
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 47																																	
目的及び事業内容		65歳以上の高齢者が、運動機能の向上や口腔機能の改善等の介護予防全般について専門職から学び、各自が生活の活動性を高めることで要介護状態等になることを予防するとともに、介護予防に資する自発的な活動が広く実施できるよう介護予防の啓発、普及等を図る。 （介護予防はつつつ元気教室、地域介護予防教室、いきいき100歳体操普及事業）																																					
取 組 実 績		1 介護予防はつつつ元気教室 運動機能向上のほか栄養改善及び口腔機能向上等を実施することにより、生活機能低下の防止につなげる。また、教室終了後も自主的に活動できるよう住民主体の通いの場を創出する。 （1）実施回数 96回（12会場8回コース） （2）参加人数 962人 2 地域介護予防教室 各地域包括支援センターに委託し、地域の高齢者を対象に気軽に参加出来る介護予防教室を実施した。（運動機能向上、腰痛、口腔機能向上、栄養改善、生きがいづくり支援・閉じこもり予防、認知症・うつ予防） （1）実施回数 234回 （2）参加人数 2,856人 3 いきいき100歳体操サポーター養成講座 専門スタッフによるいきいき100歳体操の実施及び自主活動に向けた支援を行った。 （1）実施回数 2回（各回5回コース） （2）参加人数 178人 4 いきいき100歳体操立上げ支援事業 （1）実施希望サロン団体 29団体 48回 634人																																					
成 果		各介護予防の事業回数が増加したことにより、参加延べ人数の増加がみられた。各専門職による高齢者への健康指導に関する普及啓発が図られた。各介護予防事業を連携して実施したことにより、住民主体での介護予防の自主活動へとつながった。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">開催回数</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">参加延べ人数</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>393回</td><td>355回</td><td>90.3%</td><td>5,790人</td><td>4,196人</td><td>72.5%</td></tr><tr><td>R6</td><td>393回</td><td>363回</td><td>92.4%</td><td>5,790人</td><td>4,418人</td><td>76.3%</td></tr><tr><td>R7</td><td>394回</td><td>388回</td><td>98.5%</td><td>5,800人</td><td>4,630人</td><td>79.8%</td></tr></table>						年度	開催回数		達成率	参加延べ人数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R5	393回	355回	90.3%	5,790人	4,196人	72.5%	R6	393回	363回	92.4%	5,790人	4,418人	76.3%	R7	394回	388回	98.5%	5,800人	4,630人	79.8%
年度	開催回数		達成率	参加延べ人数		達成率																																	
	目標値	実績		目標値	実績																																		
R5	393回	355回	90.3%	5,790人	4,196人	72.5%																																	
R6	393回	363回	92.4%	5,790人	4,418人	76.3%																																	
R7	394回	388回	98.5%	5,800人	4,630人	79.8%																																	
成果に係る評価		介護予防はつつつ元気教室のなかで、いきいき100歳体操の内容を取り入れたことにより、教室終了後に養成講座や立ち上げ支援につながり、住民主体の通いの場にて体操が行われることで、広く高齢者の介護予防が図られている。 また、通いの場に限らず、在宅でも高齢者自ら自身にあった体操を実践することで、個人による介護予防が図られるため、事業を継続する必要がある。																																					
（単位：円）																																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																																	
	17,553,000		16,692,477	7,201,084		6,593,529	2,897,864																																

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		「食」の自立支援事業																																						
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																						
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																						
	事業	「食」の自立支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 3 ）	高齢者の生活支援を推進する																																						
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 48																																					
目的及び事業内容		一人暮らし高齢者等で日常の食生活において支援が必要な方に対し、食生活の改善と健康増進及び「食」を通じて人のつながりを深め、自立した生活を送ることができるように配食サービスを提供し、併せて利用者の安否確認を行う。																																									
取 組 実 績		単身世帯又は高齢者のみの世帯に対し、栄養バランスのとれた食事の提供を行うとともに利用者の安否確認を行った。 （対象） ・65歳以上の単身又は高齢者のみの世帯に属する高齢者であって、心身の要件及びその置かれている環境の要件が日常の食生活において支援が必要であると認められるもの。 ・市民税非課税世帯。 （利用回数） ・利用者1人当たり週7回を限度とし、1回当たり1食を昼食又は夕食時に配食。 （費用） ・1食（810円）につき、利用者が400円、市が410円を負担する。																																									
成 果		利用実人数及び利用延べ食数が増加しており、本事業に対する地域ニーズは引き続き一定程度あるものと考えられる。栄養バランスのとれた食事の提供及び配達時の安否確認を行うことで、高齢者の食生活の改善や在宅生活の継続につながった。 また、半島沿岸部（雄勝、牡鹿、北上）への配送については、配食事業者に対する配送料を支払うことで、継続的かつ安定的なサービス提供につながっている。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">利用実人数</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">利用延べ食数</th><th rowspan="2">達成率</th><th rowspan="2">委託事業者</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>230人</td><td>251人</td><td>109.1%</td><td>36,600食</td><td>36,344食</td><td>99.3%</td><td>5</td></tr><tr><td>R6</td><td>280人</td><td>305人</td><td>108.9%</td><td>45,600食</td><td>43,415食</td><td>95.2%</td><td>5</td></tr><tr><td>R7</td><td>280人</td><td>328人</td><td>117.1%</td><td>45,600食</td><td>43,800食</td><td>96.1%</td><td>5</td></tr></table>						年度	利用実人数		達成率	利用延べ食数		達成率	委託事業者	目標値	実績	目標値	実績	R5	230人	251人	109.1%	36,600食	36,344食	99.3%	5	R6	280人	305人	108.9%	45,600食	43,415食	95.2%	5	R7	280人	328人	117.1%	45,600食	43,800食	96.1%	5
年度	利用実人数		達成率	利用延べ食数		達成率	委託事業者																																				
	目標値	実績		目標値	実績																																						
R5	230人	251人	109.1%	36,600食	36,344食	99.3%	5																																				
R6	280人	305人	108.9%	45,600食	43,415食	95.2%	5																																				
R7	280人	328人	117.1%	45,600食	43,800食	96.1%	5																																				
成果に係る評価		利用実人数及び利用延べ食数が増加していることから、食事の準備が困難な高齢者に対する配食サービスのニーズは引き続きあるものと考えられる。 また、栄養バランスのとれた食事の提供と配達時の安否確認を一体的に実施することで、高齢者の健康維持や在宅生活の継続につながっている。 特に、民間サービスに限られる半島沿岸部（雄勝、牡鹿、北上）においても、配送料を支払うことで安定したサービス提供を継続することができており、高齢者が必要なサービスを利用できる環境の確保につながっている。今後も高齢化の進展を見据え、安定的な事業運営に努めていく必要がある。																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																					
	24,386,000	19,068,442	8,226,066		7,532,034	3,310,342																																					

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		訪問型介護予防事業																																						
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																						
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																						
	事業	訪問指導員事業費（介護保険事業特別会計）		（ 2 ）	介護予防等の取組を推進する																																						
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 47																																					
目的及び事業内容		療養上の保健指導が必要と認められる高齢者等に対し、訪問指導員が訪問し、必要な相談・指導を行うことにより、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図る。 対象者は、市内に住所を有し、次の項目のいずれかに該当する65歳以上の方である。 ・閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある方又はこれらの状態にある方 ・健康診査等で健康管理上訪問指導が必要と認められる方 ・要支援又は要介護の認定を受けている方																																									
取 組 実 績		地域包括支援センター等が作成した介護予防プラン等に基づき、以下の指導等を行った。 1 介護予防 栄養指導、口腔体操、体操 2 要介護状態の軽減・悪化防止 健康チェック、服薬指導、病気や認知症の観察 3 家庭における療養方法 日常生活（食事、運動、排せつ、受診の有無等）を確認し指導、精神的支援（傾聴） 4 家庭における機能訓練の方法、住宅改修及び福祉用具の使用方法 運動指導、日常生活動作の確認と指導 5 生活習慣病の予防 喫煙や飲酒状態の確認と指導、運動・体重・睡眠・食事量の状態の確認と指導 疾病の悪化予防として、服薬確認、受診のすすめ等																																									
成 果		訪問指導員が3名体制となる期間が続いたことにより、訪問実人数を調整したことで訪問延べ回数が昨年度より減少した。訪問指導員の高齢者に対する健康面や精神面での関わりにより、在宅生活継続が図られている。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">訪問実人数</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">訪問延べ回数</th><th rowspan="2">達成率</th><th rowspan="2">訪問指導員</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>120人</td><td>82人</td><td>68.3%</td><td>1,400回</td><td>1,232回</td><td>88.0%</td><td>4人</td></tr><tr><td>R6</td><td>120人</td><td>83人</td><td>69.2%</td><td>1,400回</td><td>1,088回</td><td>77.7%</td><td>4人</td></tr><tr><td>R7</td><td>120人</td><td>75人</td><td>62.5%</td><td>1,400回</td><td>883回</td><td>63.1%</td><td>6月まで4人体制 7月から3人体制</td></tr></table>						年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数		達成率	訪問指導員	目標値	実績	目標値	実績	R5	120人	82人	68.3%	1,400回	1,232回	88.0%	4人	R6	120人	83人	69.2%	1,400回	1,088回	77.7%	4人	R7	120人	75人	62.5%	1,400回	883回	63.1%	6月まで4人体制 7月から3人体制
年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数		達成率	訪問指導員																																				
	目標値	実績		目標値	実績																																						
R5	120人	82人	68.3%	1,400回	1,232回	88.0%	4人																																				
R6	120人	83人	69.2%	1,400回	1,088回	77.7%	4人																																				
R7	120人	75人	62.5%	1,400回	883回	63.1%	6月まで4人体制 7月から3人体制																																				
成果に係る評価		訪問指導員の人員が不足する期間があったため、訪問延べ回数の減少がみられた。本事業の対象者は、独居高齢者や身体的・精神的・社会的問題を抱える高齢者が多いことから、訪問指導員による体調面等への指導は重要である。本事業の申請者となる市内のケアマネジャーへ本事業の周知徹底を図り、在宅高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう本事業を継続する必要がある。																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																						
					国(県)支出金	地方債	その他 事業収入																																				
	14,140,000		12,435,479		5,364,627	4,912,014	2,158,838																																				

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		ミニデイサービス支援事業																																
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																
	事業	ミニデイサービス支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 1 ）	高齢者の生きがいがいづくりを推進する																																
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 46																															
目的及び事業内容		高齢者を対象に、地域の集会所・家屋等を利用した小規模なデイサービス事業等の福祉サービスを提供する個人又は団体に対して補助金を交付する。																																			
取 組 実 績		1 補助要件 ・事業を6か月以上継続して実施 ・概ね月3回以上実施 ・1回当たりの事業実施時間が5時間以上 ・1回当たりの平均利用者数が5人以上 2 補助金額 利用者1人当たり1回の利用 1,180円（補助対象となる1回当たりの利用者数上限は14人）																																			
成 果		ミニデイサービスの開催数を毎週から月3回に減らすなど、活動を縮小した団体があったことから、開催数及び延べ利用者数が減少した。 利用者については、ミニデイサービスを継続的に利用することで、心身機能の維持・向上及び積極的な社会参加と生活の活性化が図られた。 補助交付件数（過去3年） <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">団体数</th><th rowspan="2">開催数</th><th colspan="2">延べ利用者数</th><th rowspan="2">達成率</th><th rowspan="2">補助金交付額</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>9団体</td><td>684回</td><td>7,400人</td><td>5,604人</td><td>75.7 %</td><td>6,612,720円</td></tr><tr><td>R6</td><td>9団体</td><td>650回</td><td>7,400人</td><td>5,782人</td><td>78.1 %</td><td>6,822,760円</td></tr><tr><td>R7</td><td>9団体</td><td>601回</td><td>7,400人</td><td>5,405人</td><td>73.0 %</td><td>6,377,900円</td></tr></table>						年度	団体数	開催数	延べ利用者数		達成率	補助金交付額	目標値	実績	R5	9団体	684回	7,400人	5,604人	75.7 %	6,612,720円	R6	9団体	650回	7,400人	5,782人	78.1 %	6,822,760円	R7	9団体	601回	7,400人	5,405人	73.0 %	6,377,900円
年度	団体数	開催数	延べ利用者数		達成率	補助金交付額																															
			目標値	実績																																	
R5	9団体	684回	7,400人	5,604人	75.7 %	6,612,720円																															
R6	9団体	650回	7,400人	5,782人	78.1 %	6,822,760円																															
R7	9団体	601回	7,400人	5,405人	73.0 %	6,377,900円																															
成果に係る評価		団体数の増減がなく、延べ利用者数のみ減少していたが、活動の縮小が要因として考えられる。今後も継続して事業を実施していけるよう支援していく。 地域での身近な小規模デイサービスは、高齢者の心身機能の維持・向上、社会的孤立感の解消やフレイル予防の上で重要な役割を果たしていることから、今後も事業を継続する必要がある。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																															
	8,506,000	6,377,900	2,751,407		2,519,270	1,107,223																															

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		地域介護予防活動支援事業																																							
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																							
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																							
	事業	地域介護予防活動支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 2 ）	介護予防等の取組を推進する																																							
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 48																																						
目的及び事業内容		高齢者等を対象とした日中の居場所づくり、定期的なサロン等の通いの場を提供する住民主体による自主的活動を支援するとともに、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び介護予防、地域の支え合い体制づくりの推進を目的とする。 地域の集会所等において、65歳以上の高齢者を中心に、運動、趣味活動等を通じた日中の居場所をつくり、定期的な通いの場を提供する個人または団体に対して補助金を交付する。																																										
取 組 実 績		1 補助要件 ・事業を6か月以上継続して実施 ・月2回以上実施 ・1回当たりの事業実施時間が概ね2時間以上 ・1回当たりの平均利用者のうち65歳以上の高齢者が5人以上 2 補助金額 ・1回当たり1,000円、月額上限10,000円（活動回数に応じ、年間上限120,000円）																																										
成 果		生活支援コーディネーターと連携し、資金面の課題から活動継続が難しくなっていた団体等へ事業の情報提供を行うとともに、新規団体の立ち上げ支援にあわせて周知を進めた。 その結果、交付対象団体の増加や新規申請につながった。また、補助金の交付により会場費等の負担が軽減され、活動の幅が広がったことで、高齢者が日中に気軽に参加できる場が増え、地域における居場所づくりや社会参加の促進につながった。 補助実績 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">交付対象団体</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">登録人数</th><th rowspan="2">達成率</th><th rowspan="2">補助金交付額</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>55団体</td><td>32団体</td><td>58.2%</td><td>990人</td><td>587人</td><td>59.3%</td><td>1,841,690円</td></tr><tr><td>R6</td><td>55団体</td><td>59団体</td><td>107.3%</td><td>990人</td><td>925人</td><td>93.4%</td><td>2,440,490円</td></tr><tr><td>R7</td><td>55団体</td><td>72団体</td><td>130.9%</td><td>990人</td><td>1,157人</td><td>116.9%</td><td>2,950,315円</td></tr></table>							年度	交付対象団体		達成率	登録人数		達成率	補助金交付額	目標値	実績	目標値	実績	R5	55団体	32団体	58.2%	990人	587人	59.3%	1,841,690円	R6	55団体	59団体	107.3%	990人	925人	93.4%	2,440,490円	R7	55団体	72団体	130.9%	990人	1,157人	116.9%	2,950,315円
年度	交付対象団体		達成率	登録人数		達成率	補助金交付額																																					
	目標値	実績		目標値	実績																																							
R5	55団体	32団体	58.2%	990人	587人	59.3%	1,841,690円																																					
R6	55団体	59団体	107.3%	990人	925人	93.4%	2,440,490円																																					
R7	55団体	72団体	130.9%	990人	1,157人	116.9%	2,950,315円																																					
成果に係る評価		住み慣れた地域で気軽に参加できる通いの場は、高齢者の社会参加や介護予防に重要な役割を果たしている。 一方で、活動の広がりと継続に向けては、新規団体への働きかけと既存団体への支援の両面が求められていることから、地域包括支援センターや生活支援コーディネーター等と連携し、丁寧な支援や相談対応を行っていく必要がある。 今後は、サロン活動が持つ社会的孤立の解消や健康維持への効果を踏まえ、関係機関との連携強化やシニアガイドブックの活用等により、多様な手法を用いたさらなる周知・啓発を実施していく。																																										
（単位：円）																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																																						
	3,771,000	3,104,231	1,339,155		1,226,171	538,905																																						

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		地域リハビリテーション活動支援事業																																				
	2 項	一般介護予防事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																				
	1 目	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																				
	事業	地域リハビリテーション活動支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 2 ）	介護予防等の取組を推進する																																				
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 48																																			
目的及び事業内容		在宅で介護予防のためのリハビリテーション支援が必要な個人及び住民主体による自主活動を行っている団体等に対し、リハビリ専門職を派遣し個別訪問、集団運動指導及びリハビリテーション相談を行うことにより、地域における介護予防の取組を強化する。																																							
取 組 実 績		1 個別訪問 リハビリテーション支援が必要な方を訪問し、個別の運動プログラムや住宅環境の改善、福祉用具の利活用等に関する相談や指導を行った。 2 集団運動指導 サロン活動等において、健康づくりのための安全で効果的な運動指導やリハビリテーションに関する相談を実施した。 3 地域ケア会議（令和4年度より開始） 介護予防、問題解決型、地域課題等の地域ケア会議において、高齢者の生活の質が向上するように介護支援専門員等に対し各専門職が助言・指導を実施した。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">個別訪問</th><th colspan="2">集団指導</th><th colspan="2">地域ケア会議</th></tr><tr><th>訪問数</th><th>利用実人数</th><th>実施回数</th><th>利用実人数</th><th>実施回数</th><th>利用実人数</th></tr><tr><td>R5</td><td>24件</td><td>24人</td><td>65回</td><td>890人</td><td>36回</td><td>36人</td></tr><tr><td>R6</td><td>21件</td><td>21人</td><td>54回</td><td>690人</td><td>34回</td><td>34人</td></tr><tr><td>R7</td><td>9件</td><td>9人</td><td>68回</td><td>816人</td><td>29回</td><td>29人</td></tr></table>						年度	個別訪問		集団指導		地域ケア会議		訪問数	利用実人数	実施回数	利用実人数	実施回数	利用実人数	R5	24件	24人	65回	890人	36回	36人	R6	21件	21人	54回	690人	34回	34人	R7	9件	9人	68回	816人	29回	29人
年度	個別訪問		集団指導		地域ケア会議																																				
	訪問数	利用実人数	実施回数	利用実人数	実施回数	利用実人数																																			
R5	24件	24人	65回	890人	36回	36人																																			
R6	21件	21人	54回	690人	34回	34人																																			
R7	9件	9人	68回	816人	29回	29人																																			
成 果		集団指導の実施回数が増加したことにより、高齢者がリハビリ専門職の指導内容を在宅で実践することで自身の介護予防が図られている。 また、市内のケアマネジャーに対してリハビリ専門職が個別訪問や地域ケア会議を通じて、専門的な立場から助言・指導を行うことで、ケアプラン作成などの質の向上につながっている。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">専門職の訪問延べ回数（活動指標）</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">延べ実施人数（成果指標）</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標</th><th>実績</th><th>目標</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>130回</td><td>125回</td><td>96.2%</td><td>1,000人</td><td>950人</td><td>95.0%</td></tr><tr><td>R6</td><td>130回</td><td>109回</td><td>83.8%</td><td>1,000人</td><td>745人</td><td>74.5%</td></tr><tr><td>R7</td><td>130回</td><td>106回</td><td>81.5%</td><td>1,000人</td><td>854人</td><td>85.4%</td></tr></table>						年度	専門職の訪問延べ回数（活動指標）		達成率	延べ実施人数（成果指標）		達成率	目標	実績	目標	実績	R5	130回	125回	96.2%	1,000人	950人	95.0%	R6	130回	109回	83.8%	1,000人	745人	74.5%	R7	130回	106回	81.5%	1,000人	854人	85.4%		
年度	専門職の訪問延べ回数（活動指標）		達成率	延べ実施人数（成果指標）		達成率																																			
	目標	実績		目標	実績																																				
R5	130回	125回	96.2%	1,000人	950人	95.0%																																			
R6	130回	109回	83.8%	1,000人	745人	74.5%																																			
R7	130回	106回	81.5%	1,000人	854人	85.4%																																			
成果に係る評価		地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携して、本事業の普及・啓発を実施したことにより住民主体の通いの場から集団指導の依頼が増加した。 個別訪問や地域ケア会議については、市内のケアマネジャーからの依頼が主であるが、地域によって依頼件数に偏りがみられる。 通所型介護予防事業と連携し、本事業の個別訪問につなげる必要がある高齢者を洗い出し、個別訪問を実施することで在宅高齢者が住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるよう支援するため継続が必要な事業である。																																							
							(単位：円)																																		
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
				国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																		
		5,060,000	4,250,711	1,833,743		1,679,031	737,937																																		

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		高齢者世話付住宅事業																										
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																										
	3 目	任意事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																										
	事業	高齢者世話付住宅事業費（介護保険事業特別会計）		（ 3 ）	高齢者の生活支援を推進する																										
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 48																									
目的及び事業内容		県営石巻渡波住宅に設置されている高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に生活援助員を派遣し、居住している高齢者に対し、生活相談、生活指導、安否確認、一時的な家事援助及び緊急時の対応等のサービスを実施する。																													
取 組 実 績		1 シルバーハウジング入居者に対し、生活援助員として2人（常駐1人）を派遣し、生活指導、相談対応、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等を行った。 2 委託業者による休日、早朝及び夜間の緊急通報対応業務を行った。 <table><tr><td>年度</td><td>設置戸数</td><td>入居戸数</td><td>入居率</td><td>入居者実人員</td><td>派遣人員</td></tr><tr><td>R5</td><td>10戸</td><td>7戸</td><td>70.0%</td><td>9人</td><td>2人（常駐1人）</td></tr><tr><td>R6</td><td>10戸</td><td>7戸</td><td>70.0%</td><td>9人</td><td>2人（常駐1人）</td></tr><tr><td>R7</td><td>10戸</td><td>7戸</td><td>70.0%</td><td>9人</td><td>2人（常駐1人）</td></tr></table> ※各年度3月末日現在						年度	設置戸数	入居戸数	入居率	入居者実人員	派遣人員	R5	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）	R6	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）	R7	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）
年度	設置戸数	入居戸数	入居率	入居者実人員	派遣人員																										
R5	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）																										
R6	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）																										
R7	10戸	7戸	70.0%	9人	2人（常駐1人）																										
成 果		過去3年間の動向としては、入居戸数及び入居者実人数は横ばいとなっている。 シルバーハウジングに生活援助員を派遣することにより、入居者の在宅生活の支援を図ることができた。また、生活援助員の研修受講を通して、高齢者対応の質の向上が図られた。																													
成果に係る評価		生活援助員を派遣し、生活相談や巡回による安否確認等を行うことにより、高齢者が地域社会で自立した生活を送るための住まいの確保に寄与している。 居住者の高齢化に伴い、相談内容が多岐にわたることから、今後も、住宅を管理する宮城県住宅供給公社や高齢者の総合相談先である地域包括支援センターと連携しながら、入居者が安全かつ安心した生活を営むことができるよう事業を継続していく。																													
(単位：円)																															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																									
	4,295,500	4,260,257	2,493,933		820,079	946,245																									

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		成年後見制度利用支援事業																																
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																
	3 目	任意事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																
	事業	成年後見制度利用支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 3 ）	高齢者の生活支援を推進する																																
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 49																															
目的及び事業内容		認知症等によって、物事を判断する能力が十分ではない高齢者のうち、身寄りがいないなどの理由で、審判の期待ができない方について、市長が家庭裁判所に対して成年後見、保佐及び補助の開始に係る審判の請求（成年後見制度市長申立て）等を行い、本人の権利を守る援助者（後見人、保佐人、補助人）を選任することにより、適切な財産管理と身上の保護を図る。 併せて、経済的に支援を受けなければ成年後見制度の利用が困難な状況にある者に対しては、報酬の助成を行うことで、制度利用継続の支援を図る。																																			
取組実績	1 市長による成年後見等の開始に係る審判の請求（成年後見制度市長申立て） 地域包括支援センター等の相談支援機関から成年後見制度に関する相談を受け、必要に応じて家庭裁判所に対して成年後見等の開始に係る審判の請求を行った。 【成年後見制度の類型】 ・ 事理を弁識する能力を欠く常況にある者（成年後見） ・ 事理を弁識する能力が著しく不十分である者（保佐） ・ 事理を弁識する能力が不十分である者（補助）																																				
	2 成年後見人等への報酬に関する助成 成年後見人等への報酬支払いが困難な成年被後見人等に対して助成を行った。 ・ 対象者：生活保護受給者、助成を受けなければ成年後見人等への報酬支払いが困難な者 ・ 助成上限額（月額）：施設入所者 18,000円 施設入所以外の者（在宅生活者等）28,000円																																				
	3 実績（介護福祉課・総合相談センター合算分）																																				
	<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">成年後見制度市長申立て</th><th colspan="2">成年後見人等報酬の助成</th></tr><tr><th>調査件数</th><th>申立件数</th><th>類型内訳</th><th>助成件数</th><th>助成金額</th></tr><tr><td>R5</td><td>15件</td><td>9件</td><td>後見：8件 保佐：1件 補助：0件</td><td>10件</td><td>2,208,000円</td></tr><tr><td>R6</td><td>14件</td><td>10件</td><td>後見：7件 保佐：3件 補助：0件</td><td>9件</td><td>1,867,118円</td></tr><tr><td>R7</td><td>17件</td><td>7件</td><td>後見：5件 保佐：2件 補助：0件</td><td>15件</td><td>3,211,242円</td></tr></table>						年度	成年後見制度市長申立て			成年後見人等報酬の助成		調査件数	申立件数	類型内訳	助成件数	助成金額	R5	15件	9件	後見：8件 保佐：1件 補助：0件	10件	2,208,000円	R6	14件	10件	後見：7件 保佐：3件 補助：0件	9件	1,867,118円	R7	17件	7件	後見：5件 保佐：2件 補助：0件	15件	3,211,242円		
年度	成年後見制度市長申立て			成年後見人等報酬の助成																																	
	調査件数	申立件数	類型内訳	助成件数	助成金額																																
R5	15件	9件	後見：8件 保佐：1件 補助：0件	10件	2,208,000円																																
R6	14件	10件	後見：7件 保佐：3件 補助：0件	9件	1,867,118円																																
R7	17件	7件	後見：5件 保佐：2件 補助：0件	15件	3,211,242円																																
成果	4 その他の取組について (1) 出前講座やパンフレット配布による周知・啓発活動 (2) 石巻市成年後見制度利用促進会議の開催 専門職団体（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会）、家庭裁判所の意見交換及び情報共有																																				
	成年後見制度市長申立てと成年後見人等への報酬助成を実施することによって、成年後見制度の利用開始と継続を支援し、判断能力が不十分な高齢者の権利擁護及び福祉の充実を図ることができた。 また、石巻市成年後見制度利用促進会議を通して制度の専門家と意見交換を行い、本市の成年後見制度関連施策に関する課題の解決手段の検討につなげることができた。加えて、周知・啓発活動により制度の内容等の市民への浸透を図った。																																				
	【目標値及び達成状況】																																				
	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">制度利用要否調査件数</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">申立て件数</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>10件</td><td>15件</td><td>150%</td><td>10件</td><td>9件</td><td>90%</td></tr><tr><td>R6</td><td>10件</td><td>14件</td><td>140%</td><td>10件</td><td>10件</td><td>100%</td></tr><tr><td>R7</td><td>10件</td><td>17件</td><td>170%</td><td>10件</td><td>7件</td><td>70%</td></tr></table>							制度利用要否調査件数		達成率	申立て件数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R5	10件	15件	150%	10件	9件	90%	R6	10件	14件	140%	10件	10件	100%	R7	10件	17件	170%	10件	7件
	制度利用要否調査件数		達成率	申立て件数		達成率																															
	目標値	実績		目標値	実績																																
R5	10件	15件	150%	10件	9件	90%																															
R6	10件	14件	140%	10件	10件	100%																															
R7	10件	17件	170%	10件	7件	70%																															
成果に係る評価		成年後見制度市長申立てを行った件数については、対象者の死亡等の理由で調査を終結としたケースがあり、令和6年度をやや下回る結果となったが、調査を開始した件数は令和6年度を上回っており、成年後見制度に対する需要は高まっていると思われる。 また、報酬助成については、成年後見制度利用者の増加や本事業実施要綱改正（令和6年4月1日施行）による助成対象範囲の拡充の影響もあり件数が大幅に増加した。 本事業は成年後見制度利用の開始及び継続を支援し、判断能力が不十分な高齢者の福祉の充実にもつながることから、今後も事業を継続する必要がある。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																
					国(県)支出金	事業収入																															
	10,195,500		3,792,088		2,216,165	839,548																															

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		地域づくり支援事業																			
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																			
	4 目	生活支援体制整備事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																			
	事業	地域づくり支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 3 ）	高齢者の生活支援を推進する																			
担当部課		保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 49																			
目的及び事業内容		単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、NPO、民間企業、石巻市社会福祉協議会、民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る。																						
取組実績		1 生活支援・介護予防体制整備推進協議体（第1層協議体）の設置（委員13名） 2 生活支援コーディネーターの配置（地域福祉コーディネーター兼務） 第1層生活支援コーディネーター 1人（石巻市全域） 第2層生活支援コーディネーター 13人（市内16地区のうち3地区については兼務） 3 第2層協議体の設置（市内16地区） (1) 第2層協議体の主な活動事例（抜粋） ア 湊地区の第2層協議体において、高齢化の進行に伴いごみ出しが困難となっている高齢者や、介護保険制度の非該当者など制度の狭間にある方の課題について協議を行い、「生活支援」や「社会参加」の視点からボランティアポイント制度の活用を含めた対応策を検討した。その結果、地域単独での対応にとどまらず、ごみ出し支援を含めた市全体の課題として整理し、市としての取組が求められる事項を第1層コーディネーターへ提案した。 イ 河南地区の第2層協議体において、『いつまでも安心して暮らせる地域づくり』をテーマに話し合いを行う中で、「いざという時は介護サービスがあるが、それに頼るだけでなく地域の協力が重要である」との意見が挙がり、「居場所づくり」や「社会参加」の機会創出を目的として、第2層コーディネーターの提案により『老人福祉センター開放デー』を実施した。その結果、祖父母や孫、学生、地域住民ボランティアなど多世代が交流できる場が創出され、施設の有効活用と誰もが気軽に出入りできる地域の居場所づくりにつながった。																						
成果		第2層協議体（16地区）において年間98回の協議が実施され、地域の支え合い体制づくりに向けた検討及び取組が進められた。 その結果、各協議体単位での学びの機会の創出や地域住民への情報発信、年2回の軽度生活援助の担い手研修実施など、地域の課題や実情に即した実践的な取組が展開されている。 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="2">第2層協議体開催回数</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>88回</td><td>56回</td><td>63.6%</td></tr><tr><td>R6</td><td>90回</td><td>96回</td><td>106.7%</td></tr><tr><td>R7</td><td>90回</td><td>98回</td><td>108.9%</td></tr></table>					年度	第2層協議体開催回数		達成率	目標値	実績	R5	88回	56回	63.6%	R6	90回	96回	106.7%	R7	90回	98回	108.9%
年度	第2層協議体開催回数		達成率																					
	目標値	実績																						
R5	88回	56回	63.6%																					
R6	90回	96回	106.7%																					
R7	90回	98回	108.9%																					
成果に係る評価		生活支援コーディネーターをはじめ、地縁組織、地域包括支援センター、地域コミュニティ等の連携のもと、第2層協議体による生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築及び地域の支え合い体制づくりに着実に進められている。 また、第1層協議体においては、県の伴走型支援事業を活用した研修会の実施や、生活支援を行う団体へのヒアリング結果を冊子にまとめ、地域における高齢者支援に携わる方へ共有したことで、地域で活動する関係者同士の理解が深まっている。 今後は、引き続き地域のニーズや課題の把握に努めるとともに、地域住民による互助の取組を一層推進し、地域全体で高齢者を支える体制の強化及び多様なサービス提供体制の充実を図る必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
				国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																	
		38,269,000	37,246,515	22,704,953		7,169,772	7,371,790																	

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名		認知症総合支援事業																																	
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																	
	5 目	認知症総合支援事業費		第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																	
	事業	認知症総合支援事業費（介護保険事業特別会計）		（ 3 ）	高齢者の生活支援を推進する																																	
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 49																																
目的及び事業内容		認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族を支援することを目的とする。 認知症の疑われる人やその家族に対して早期に関わる支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた認知症初期集中支援推進事業を実施。また、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、支援ネットワークの構築や「認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ」をまとめた認知症ケアパスの活用、認知症カフェなどを実施し、認知症の人やその家族への支援を行う。その他、認知症についての普及・啓発のため認知症講演会等を開催する。																																				
取 組 実 績		1 認知症初期集中支援推進事業 (1) チーム員会議開催回数 3回 (2) 相談件数 4件 2 認知症講演会 (1) 内容 演題「認知症とともに生きる」 (2) 参加者数 527人（前年度286人） 3 認知症ケアパスの見直し、当事者向け認知症ケアパスの作成 (1) 配布先 認知症講演会参加者、地域包括支援センター相談者等 (2) 配布開始 平成28年7月から (3) R7配布（作成） 3,000部 4 認知症簡易チェックサイト アクセス数：2,105回 5 認知症カフェ (1) 対象 当事者、介護者、支援者等、地域住民 (2) 会場 12か所（市内集会室等） (3) 回数 延べ112回（前年度93回） (4) 参加者数 延べ1,736人（前年度1,612人）																																				
成 果		認知症初期集中支援チーム員会議については、令和6年度と比較して開催回数は減少したものの、検討した4件のうち3件が適切な医療・介護サービスにつながった。残る1件についても継続事例として支援を行っている。 また、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人や家族を地域で支える体制の充実を図っており、認知症の方への支援体制の整備が進んでいる。 認知症カフェについては、開催回数及び参加者数がともに増加し、認知症の人や家族、地域住民が交流できる場の充実につながった。認知症講演会では、認知症当事者による講演を実施し、認知症への正しい理解の普及啓発を推進した。参加者数は前年度の約2倍となり、認知症に対する理解促進につながった。 <table><tr><th colspan="2">認知症初期集中支援推進事業</th><th rowspan="2">達成率</th><th colspan="2">延べ検討件数（件）</th><th rowspan="2">達成率</th></tr><tr><th>年度</th><th>医療・介護につながった者の割合（％）</th><th>目標値</th><th>実績</th></tr><tr><td>R5</td><td>65.0.0%</td><td>66.7.0%</td><td>102.6.0%</td><td>24件</td><td>18件</td><td>75.0.0%</td></tr><tr><td>R6</td><td>70.0.0%</td><td>60.0.0%</td><td>85.7.0%</td><td>24件</td><td>6件</td><td>25.0.0%</td></tr><tr><td>R7</td><td>70.0.0%</td><td>75.0.0%</td><td>107.1.0%</td><td>24件</td><td>4件</td><td>16.7.0%</td></tr></table>						認知症初期集中支援推進事業		達成率	延べ検討件数（件）		達成率	年度	医療・介護につながった者の割合（％）	目標値	実績	R5	65.0.0%	66.7.0%	102.6.0%	24件	18件	75.0.0%	R6	70.0.0%	60.0.0%	85.7.0%	24件	6件	25.0.0%	R7	70.0.0%	75.0.0%	107.1.0%	24件	4件	16.7.0%
認知症初期集中支援推進事業		達成率	延べ検討件数（件）		達成率																																	
年度	医療・介護につながった者の割合（％）		目標値	実績																																		
R5	65.0.0%	66.7.0%	102.6.0%	24件	18件	75.0.0%																																
R6	70.0.0%	60.0.0%	85.7.0%	24件	6件	25.0.0%																																
R7	70.0.0%	75.0.0%	107.1.0%	24件	4件	16.7.0%																																
成果に係る評価		認知症高齢者は年々増加傾向にあることから、今後も関係機関と連携しながら、地域住民に対して、認知症になっても希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという「新しい認知症観」の普及啓発に努め、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを推進していく。 また、認知症の早期発見・早期対応及び早期受診につなげるため、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に加え、医療機関、介護事業所及び地域住民に対して認知症関連事業の周知を継続して行い、支援体制のさらなる充実を図っていく。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																	
					国（県）支出金	地方債	その他	事業収入																														
	12,765,400		12,503,848		7,622,170		2,406,930		2,474,748																													

予算科目	4 款	地域支援事業費	事業名				在宅医療・介護連携推進事業																															
	3 項	包括的支援事業・任意事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																	
	6 目	在宅医療・介護連携推進事業費		第 5 節	みんなが共に支え合う地域共生社会の実現																																	
	事業	在宅医療・介護連携推進事業費（介護保険事業特別会計）		（ 2 ）	地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する																																	
担当部課		保健福祉部介護福祉課		実施計画掲載ページ		P 58																																
目的及び事業内容		在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療・介護関係者を対象とした研修会・交流会を開催し、顔の見える関係づくりを行う。 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護の一体的な提供を行うために、医療・介護関係者の連携の推進を図る。																																				
取 組 実 績	1 医療・介護関係者を対象とした研修会・交流会の開催 医療職と介護職の顔の見える関係づくりを促進するため、医療・介護関係者を対象とした研修会・交流会を開催した。																																					
	<table><tr><td>年度</td><td colspan="2">医療・介護関係者研修会</td></tr><tr><td></td><td>開催回数</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>R5</td><td>3回</td><td>100人</td></tr><tr><td>R6</td><td>3回</td><td>155人</td></tr><tr><td>R7</td><td>3回</td><td>123人</td></tr></table>							年度	医療・介護関係者研修会			開催回数	参加人数	R5	3回	100人	R6	3回	155人	R7	3回	123人																
	年度	医療・介護関係者研修会																																				
		開催回数	参加人数																																			
	R5	3回	100人																																			
R6	3回	155人																																				
R7	3回	123人																																				
2 住民への在宅医療・介護事業の普及啓発 在宅医療・介護連携事業の理解を深めるため、市民講座及び出前講座を開催した。																																						
<table><tr><td rowspan="2">年度</td><td colspan="2">出前講座</td><td colspan="2">市民講座</td></tr><tr><td>在宅看取りに関する内容</td><td>参加人数</td><td>在宅医療・介護連携に関する内容</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>R5</td><td>6回</td><td>146人</td><td>2回</td><td>50人</td></tr><tr><td>R6</td><td>2回</td><td>17人</td><td>2回</td><td>166人</td></tr><tr><td>R7</td><td>2回</td><td>30人</td><td>2回</td><td>69人</td></tr></table>							年度	出前講座		市民講座		在宅看取りに関する内容	参加人数	在宅医療・介護連携に関する内容	参加人数	R5	6回	146人	2回	50人	R6	2回	17人	2回	166人	R7	2回	30人	2回	69人								
年度	出前講座		市民講座																																			
	在宅看取りに関する内容	参加人数	在宅医療・介護連携に関する内容	参加人数																																		
R5	6回	146人	2回	50人																																		
R6	2回	17人	2回	166人																																		
R7	2回	30人	2回	69人																																		
3 石巻市在宅医療・介護連携ウェブサイトの利活用の推進 市民が必要とする医療・看護・介護等の情報の検索や行政からの研修会等の情報発信を行った。																																						
<table><tr><td>年度</td><td colspan="2">ウェブサイト</td></tr><tr><td></td><td>アクセス数</td><td>登録数</td></tr><tr><td>R5</td><td>688件</td><td>232件</td></tr><tr><td>R6</td><td>416件</td><td>231件</td></tr><tr><td>R7</td><td>742件</td><td>225件</td></tr></table>							年度	ウェブサイト			アクセス数	登録数	R5	688件	232件	R6	416件	231件	R7	742件	225件																	
年度	ウェブサイト																																					
	アクセス数	登録数																																				
R5	688件	232件																																				
R6	416件	231件																																				
R7	742件	225件																																				
成 果	専門職向け研修会、市民講座の開催にあたり、地域の医療・介護の専門職に講師を依頼して実施した。また、ウェブサイトについては、石巻市医師会等の各職能団体を通じて市内の医療機関に掲載情報の確認、情報の更新を依頼したことで、アクセス数の増加がみられた。																																					
<table><tr><td rowspan="2">年度</td><td colspan="2">研修会開催回数（活動指標）</td><td rowspan="2">達成率</td><td colspan="2">研修会参加者数（成果指標）</td><td rowspan="2">達成率</td></tr><tr><td>目標</td><td>実績</td><td>目標</td><td>実績</td></tr><tr><td>R5</td><td>6回</td><td>5回</td><td>83.3%</td><td>220人</td><td>150人</td><td>68.2%</td></tr><tr><td>R6</td><td>7回</td><td>5回</td><td>71.4%</td><td>260人</td><td>321人</td><td>123.5%</td></tr><tr><td>R7</td><td>7回</td><td>5回</td><td>71.4%</td><td>260人</td><td>192人</td><td>73.8%</td></tr></table>							年度	研修会開催回数（活動指標）		達成率	研修会参加者数（成果指標）		達成率	目標	実績	目標	実績	R5	6回	5回	83.3%	220人	150人	68.2%	R6	7回	5回	71.4%	260人	321人	123.5%	R7	7回	5回	71.4%	260人	192人	73.8%
年度	研修会開催回数（活動指標）		達成率	研修会参加者数（成果指標）		達成率																																
	目標	実績		目標	実績																																	
R5	6回	5回	83.3%	220人	150人	68.2%																																
R6	7回	5回	71.4%	260人	321人	123.5%																																
R7	7回	5回	71.4%	260人	192人	73.8%																																
成果に係る評価	在宅医療・介護連携を推進するために、日常の療養支援と看取りの場面に着目し多職種連携を深めるための専門職向け研修会を開催し、顔の見える関係を構築した。 市民向け講座では、市民が在宅生活で活かせるような日常の療養支援について、介護予防の体操等の内容を実施した。 また、医師会等の職能団体を通じて石巻市在宅医療・介護連携ウェブサイトに掲載されている医療機関情報を更新した。市内の介護事業所へ掲載情報の更新を周知したことで、アクセス数が増加した。 地域の医療・介護専門職が連携し、本市の在宅医療・介護現場を支えるために本事業の継続は必要である。																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																
	1,041,000	867,846	529,027		167,056	171,763																																

予算科目	5 款	保健福祉事業費			事業名		高齢者の生きがいと創造の事業				
	1 項	保健福祉事業費			総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち				
	1 目	保健福祉事業費				第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実				
	事業	保健福祉事業費（介護保険事業特別会計）				(1)	高齢者の生きがいがいづくりを推進する				
担当部課		保健福祉部介護福祉課			実施計画掲載ページ		P47				
目的及び事業内容		60歳以上の市民を対象として、専門講師による各種講座を開講し、高齢者等が知識と経験を活かし、創造的活動と趣味を通して老後の生きがいを高めることを支援する。									
取 組 実 績	各地区の会場において、木工・陶芸・手編み・ステンドグラス・七宝・つまみ細工・クラフトバンドの各種講座を実施した。										
	1 受講者状況										
	地区		本庁				桃生		北上		
	会場		総合福祉会館 みなと荘				ささえあい センター		北上 公民館		
	講座		木工	陶芸	手編み	ステンド グラス	つまみ 細工	七宝	つまみ 細工	クラフト バンド	
	受講者数 (実人数)		22人	26人	43人	7人	7人	9人	10人	30人	
	2 開講状況										
	年度	区分	木工	陶芸	手編み	ステンド グラス	つまみ 細工	七宝	つまみ 細工	クラフト バンド	計
	R5	実施回数	93回	91回	95回			20回	8回	11回	318回
		延受講者数	663人	1,124人	1,194人			80人	106人	128人	3,295人
R6	実施回数	91回	96回	96回	16回		20回	32回	18回	369回	
	延受講者数	709人	1,201人	1,576人	73人		129人	213人	379人	4,280人	
R7	実施回数	93回	98回	93回	12回	12回	20回	32回	18回	378回	
	延受講者数	712人	1,028人	1,261人	79人	67人	122人	139人	281人	3,689人	
成 果	令和7年度から石巻地区でつまみ細工講座を新規開設した。 講師より1人1人に深く関わりたいと要望があり、令和7年度から定員を減らしたため、延べ受講者数が減少した。 年間を通して事業を実施することで、高齢者等の生きがいがいづくりを支援することができた。										
	年度	延べ開催日数		達成率	延べ受講者数		達成率				
		目標値	実績		目標値	実績					
	R5	300日	318日	106.0%	3,330人	3,295人	98.9%				
	R6	300日	369日	123.0%	3,810人	4,280人	112.3%				
	R7	300日	378日	126.0%	4,290人	3,689人	86.0%				
成果に係る評価		気軽に参加できる創造的活動の場を提供することは、生きがいの創出や社会参加につながるだけでなく、閉じこもり予防や健康の保持増進を図られることから、引き続き事業を継続していく。また、幅広い地域から多くの方に受講してもらえるよう講座の周知を図り、新規受講者の増加にもつなげていきたい。									
(単位：円)											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳						
					国(県)支出金	地方債	その他	事業収入			
	4,783,742		4,220,958		33,325			4,187,633			

予算科目	5 款	保健福祉事業費	事業名	介護用品支給事業																																																						
	1 項	保健福祉事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち																																																					
		1 目		保健福祉事業費	第 2 節	生きがいをもち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																																				
		事業		保健福祉事業費（介護保険事業特別会計）	(3)	高齢者の生活支援を推進する																																																				
担当部課	保健福祉部介護福祉課	実施計画掲載ページ		P 48																																																						
目的及び事業内容			市内に住所を有し、世帯全員が市民税非課税で、介護認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している家族に対し、紙おむつ等を購入できる介護用品支給券を支給することにより、家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減並びに高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。 支給額：要支援1～要介護3 月額2,000円 要介護4～要介護5 月額5,000円																																																							
取 組 実 績	1 介護用品支給券の支給 (1) 令和6年度該当者に対し、令和7年度分の申請勧奨を実施するとともに、ケアマネジャーによる周知やチラシ配布等により、新規対象者の把握に努めた。 (2) 申請に対し、該当・非該当の決定をし、該当者に対しては介護用品支給券を交付した。																																																									
	2 支給対象品目 (1) 要支援1～要介護3 紙おむつ及び尿取りパッド (2) 要介護4～要介護5 紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋、清拭剤及びドライシャンプー																																																									
	介護用品支給券該当人数・支給券利用枚数・支払実績																																																									
	<table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>2,000円券</th><th>5,000円券</th><th>実績値</th><th>達成率</th><th>支払実績</th><th>支給券返還数</th></tr><tr><td rowspan="2">R5</td><td>550人</td><td>392人</td><td>159人</td><td>551人</td><td>100.2 %</td><td rowspan="2">11,789,761円</td><td>111人</td></tr><tr><td>5,000枚</td><td>3,092枚</td><td>1,139枚</td><td>4,231枚</td><td>84.6 %</td><td>283枚</td></tr><tr><td rowspan="2">R6</td><td>570人</td><td>373人</td><td>165人</td><td>538人</td><td>94.4 %</td><td rowspan="2">11,541,963円</td><td>119人</td></tr><tr><td>5,000枚</td><td>2,789枚</td><td>1,212枚</td><td>4,001枚</td><td>80.0 %</td><td>344枚</td></tr><tr><td rowspan="2">R7</td><td>570人</td><td>344人</td><td>152人</td><td>496人</td><td>87.0 %</td><td rowspan="2">11,341,903円</td><td>92人</td></tr><tr><td>5,000枚</td><td>1,167枚</td><td>2,873枚</td><td>4,040枚</td><td>80.8 %</td><td>249枚</td></tr></table>								年度	目標値	2,000円券	5,000円券	実績値	達成率	支払実績	支給券返還数	R5	550人	392人	159人	551人	100.2 %	11,789,761円	111人	5,000枚	3,092枚	1,139枚	4,231枚	84.6 %	283枚	R6	570人	373人	165人	538人	94.4 %	11,541,963円	119人	5,000枚	2,789枚	1,212枚	4,001枚	80.0 %	344枚	R7	570人	344人	152人	496人	87.0 %	11,341,903円	92人	5,000枚	1,167枚	2,873枚	4,040枚	80.8 %	249枚
	年度	目標値	2,000円券	5,000円券	実績値	達成率	支払実績	支給券返還数																																																		
R5	550人	392人	159人	551人	100.2 %	11,789,761円	111人																																																			
	5,000枚	3,092枚	1,139枚	4,231枚	84.6 %		283枚																																																			
R6	570人	373人	165人	538人	94.4 %	11,541,963円	119人																																																			
	5,000枚	2,789枚	1,212枚	4,001枚	80.0 %		344枚																																																			
R7	570人	344人	152人	496人	87.0 %	11,341,903円	92人																																																			
	5,000枚	1,167枚	2,873枚	4,040枚	80.8 %		249枚																																																			
支給券別申請者数																																																										
<table><tr><th>年度</th><th>2,000円券・新規</th><th>2,000円券・継続</th><th>5,000円券・新規</th><th>5,000円券・継続</th></tr><tr><td>R5</td><td>155人 28.1 %</td><td>237人 43.0 %</td><td>46人 8.4 %</td><td>113人 20.5 %</td></tr><tr><td>R6</td><td>148人 27.5 %</td><td>225人 41.8 %</td><td>29人 5.4 %</td><td>136人 25.3 %</td></tr><tr><td>R7</td><td>127人 25.6 %</td><td>217人 43.7 %</td><td>58人 11.7 %</td><td>94人 19.0 %</td></tr></table>								年度	2,000円券・新規	2,000円券・継続	5,000円券・新規	5,000円券・継続	R5	155人 28.1 %	237人 43.0 %	46人 8.4 %	113人 20.5 %	R6	148人 27.5 %	225人 41.8 %	29人 5.4 %	136人 25.3 %	R7	127人 25.6 %	217人 43.7 %	58人 11.7 %	94人 19.0 %																															
年度	2,000円券・新規	2,000円券・継続	5,000円券・新規	5,000円券・継続																																																						
R5	155人 28.1 %	237人 43.0 %	46人 8.4 %	113人 20.5 %																																																						
R6	148人 27.5 %	225人 41.8 %	29人 5.4 %	136人 25.3 %																																																						
R7	127人 25.6 %	217人 43.7 %	58人 11.7 %	94人 19.0 %																																																						
成 果	令和6年度該当者に対する申請勧奨の実施及びケアマネジャーを通して本事業の周知を行ったが、前年度に比べ申請者数・該当者数ともに減少したが、実績値は増加している。 要支援及び要介護者を在宅で介護する非課税世帯の介護者に対し、介護用品支給券を交付することにより精神的及び経済的負担の軽減につながった。 支給対象者内訳																																																									
<table><tr><th>年度</th><th>申請者数</th><th>該当者数</th><th>非該当者数（うち課税世帯者数）</th></tr><tr><td>R5</td><td>690人</td><td>551人</td><td>139人（115人 82.7 %）</td></tr><tr><td>R6</td><td>675人</td><td>538人</td><td>137人（118人 86.1 %）</td></tr><tr><td>R7</td><td>637人</td><td>496人</td><td>141人（122人 86.5 %）</td></tr></table>								年度	申請者数	該当者数	非該当者数（うち課税世帯者数）	R5	690人	551人	139人（115人 82.7 %）	R6	675人	538人	137人（118人 86.1 %）	R7	637人	496人	141人（122人 86.5 %）																																			
年度	申請者数	該当者数	非該当者数（うち課税世帯者数）																																																							
R5	690人	551人	139人（115人 82.7 %）																																																							
R6	675人	538人	137人（118人 86.1 %）																																																							
R7	637人	496人	141人（122人 86.5 %）																																																							
成果に係る評価	前年度に比べ申請件数・該当件数が減少傾向にある。要因として、介護用品を使用する対象者の要介護度が上がったことにより、在宅生活から施設入所へと生活拠点の変化に伴う継続申請件数の減少が考えられる。 また、非該当件数のうち、課税による非該当件数の占める割合も増加傾向にあり、介護者の世代交代や年金収入の増加による課税世帯の増加などが要因の一つとして考えられる。 しかし、支給券を使用した枚数は増加していることから、今後も介護用品を必要とする方からの申請漏れがないよう、引き続きリーフレットによる要介護認定者へ申請勧奨を実施するとともに、介護用品支給券取扱店舗リストをホームページへの掲載（随時更新）することで、制度利便性の向上と市民やケアマネジャー等への本事業への周知を図っていく。																																																									
(単位：円)																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																																				
	16,548,010	11,499,400	90,790			11,408,610																																																				

予算科目	1 款	資本的支出	事業名	緊急冠水対策事業（雨水分）		
	1 項	建設改良費	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	
	1 目	管渠等建設改良費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進	
	事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		（ 2 ）	災害に対する備えを充実させる	
担当部課		建設部下水道建設課	実施計画掲載ページ		P 31	
目的及び事業内容		復旧・復興事業により、主要な雨水幹線管渠や雨水排水ポンプ場が概ね完成した中で新たに顕在化した、局地的な冠水常襲箇所における被害の軽減に向けた特定箇所の緊急冠水対策を実施するもの。				
取 組 実 績		真山・錦町地区（山下駅周辺）で大雨時に冠水が頻発することから、冠水被害の軽減・解消を図るため、陸前山下駅周辺に、ポンピット及び排水ポンプを設置するとともに雨水管渠を布設するための工事を完了した。 管渠延長 P E φ200mm				

予算科目	1 款	資本的支出	事業名		石橋下水路整備事業					
	1 項	建設改良費	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち					
	1 目	管渠等建設改良費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進					
	事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		（ 7 ）	下水道等の整備を推進する					
担当部課	建設部下水道管理課	実施計画掲載ページ		－						
目的及び事業内容			歩行者の下水路への転落事故を防止するとともに、降雨時の水害防止と市街地の生活環境の向上を図るため、未改良である石橋下水路の整備を行うもの。							
取組実績			<table><tr><th>工事・業務名</th><th>概要</th></tr><tr><td>令和6年度（繰越） 石橋下水路改良工事</td><td>下水路改良工事 L=55.55m ・土工 ・水路工 排水フリーム工 L=48.9m 自由勾配側溝 L= 3.0m ・水路付帯工 等</td></tr></table>				工事・業務名	概要	令和6年度（繰越） 石橋下水路改良工事	下水路改良工事 L=55.55m ・土工 ・水路工 排水フリーム工 L=48.9m 自由勾配側溝 L= 3.0m ・水路付帯工 等
工事・業務名	概要									
令和6年度（繰越） 石橋下水路改良工事	下水路改良工事 L=55.55m ・土工 ・水路工 排水フリーム工 L=48.9m 自由勾配側溝 L= 3.0m ・水路付帯工 等									
成果			石橋下水路の整備が完了したことにより、生活環境の改善と歩行者の安全確保が図られた。							
成果に係る評価			石橋下水路は、向陽町周辺の雨水について、向陽町北側の蛇田土地改良区の所管する水路を経て、北上川へ排水する下水路であり、当該下水路が所在する地域は商業施設や事業所などに加え、住宅が集積した市街地であり、当該下水路の整備により、地域住民の安全が確保されるとともに、生活環境の改善が図られた。							
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入				
	19,019,300	19,019,300			19,019,300					

予算科目	1 款	資本的支出	事業名		公共下水道建設事業																																																																										
	1 項	建設改良費	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち																																																																										
	1 目	管渠等建設改良費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進																																																																										
	事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		（ 7 ）	下水道等の整備を推進する																																																																										
担当部課		建設部下水道建設課	実施計画掲載ページ		P 36																																																																										
目的及び事業内容		生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため、汚水管渠を整備する。また、大雨による市街地における浸水被害の防除を図るため、雨水排水ポンプ場や雨水幹線を整備する。 ・汚水 全体計画面積：4,404.5ha、全体計画処理人口：99,700人 ・雨水 雨水排水ポンプ場整備 雨水排水幹線整備																																																																													
取 組 実 績		○令和7年度公共下水道建設事業実績 ・汚水 整備面積、管渠施設施工延長実績 <table><tr><th>地区</th><th>整備面積（ha）</th><th>累計整備面積（ha）</th><th>管径（mm）</th><th>施工延長（m）</th><th>累計延長（m）</th><th>備考</th></tr><tr><td>石巻</td><td>51.50</td><td>1,957.00</td><td>φ150～250</td><td>1,303.02</td><td>461,961.60</td><td></td></tr><tr><td>河北</td><td>0.00</td><td>218.50</td><td>φ150</td><td>144.56</td><td>49,888.27</td><td></td></tr><tr><td>河南</td><td>21.20</td><td>470.00</td><td>φ150～200</td><td>250.25</td><td>86,166.98</td><td></td></tr><tr><td>桃生</td><td>0.00</td><td>192.40</td><td>φ150～250</td><td>0.00</td><td>30,176.33</td><td></td></tr><tr><td>北上</td><td>0.00</td><td>63.10</td><td>φ150</td><td>0.00</td><td>26,854.46</td><td></td></tr><tr><td>牡鹿</td><td>0.00</td><td>69.90</td><td>φ150</td><td>0.00</td><td>22,447.91</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>72.70</td><td>2,970.90</td><td></td><td>1,697.83</td><td>677,495.55</td><td></td></tr></table> ※整備面積は公共事業により整備した面積に下水道計画区域外からの流入等の整備面積が加算されているほか、累計整備面積の端数処理等の誤差を修正した。 ・雨水 中ノ堀排水路整備、中里地区雨水管渠測量実施設計及び建設工事 「石巻市まちづくりマップ」への内水ハザードマップの掲載					地区	整備面積（ha）	累計整備面積（ha）	管径（mm）	施工延長（m）	累計延長（m）	備考	石巻	51.50	1,957.00	φ150～250	1,303.02	461,961.60		河北	0.00	218.50	φ150	144.56	49,888.27		河南	21.20	470.00	φ150～200	250.25	86,166.98		桃生	0.00	192.40	φ150～250	0.00	30,176.33		北上	0.00	63.10	φ150	0.00	26,854.46		牡鹿	0.00	69.90	φ150	0.00	22,447.91		計	72.70	2,970.90		1,697.83	677,495.55																		
地区	整備面積（ha）	累計整備面積（ha）	管径（mm）	施工延長（m）	累計延長（m）	備考																																																																									
石巻	51.50	1,957.00	φ150～250	1,303.02	461,961.60																																																																										
河北	0.00	218.50	φ150	144.56	49,888.27																																																																										
河南	21.20	470.00	φ150～200	250.25	86,166.98																																																																										
桃生	0.00	192.40	φ150～250	0.00	30,176.33																																																																										
北上	0.00	63.10	φ150	0.00	26,854.46																																																																										
牡鹿	0.00	69.90	φ150	0.00	22,447.91																																																																										
計	72.70	2,970.90		1,697.83	677,495.55																																																																										
成 果		○汚水 普及率、整備率の実績 <table><tr><th rowspan="3">汚水</th><th rowspan="3">地区</th><th colspan="2">普及率</th><th colspan="2">整備率</th></tr><tr><th colspan="2">(供用開始区域人口／行政区画人口)</th><th colspan="2">(整備済面積／全体計画面積)</th></tr><tr><th>R6</th><th>R7</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td rowspan="4">下流東部流域</td><td>石巻</td><td>86.0%</td><td>87.2%</td><td>81.5%</td><td>85.0%</td></tr><tr><td>河北</td><td>61.9%</td><td>61.6%</td><td>53.3%</td><td>53.0%</td></tr><tr><td>桃生</td><td>53.7%</td><td>53.7%</td><td>59.4%</td><td>59.7%</td></tr><tr><td>計</td><td>77.5%</td><td>78.3%</td><td>72.3%</td><td>74.5%</td></tr><tr><td rowspan="3">下流流域</td><td>石巻</td><td>76.3%</td><td>77.4%</td><td>62.8%</td><td>63.8%</td></tr><tr><td>河南</td><td>60.6%</td><td>60.5%</td><td>54.7%</td><td>57.3%</td></tr><tr><td>計</td><td>73.0%</td><td>73.8%</td><td>60.3%</td><td>61.8%</td></tr><tr><td rowspan="3">単独</td><td>河北</td><td>64.0%</td><td>64.1%</td><td>67.4%</td><td>67.4%</td></tr><tr><td>北上</td><td>50.0%</td><td>50.9%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>牡鹿</td><td>34.6%</td><td>34.5%</td><td>90.8%</td><td>90.8%</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>72.7%</td><td>73.4%</td><td>65.8%</td><td>67.5%</td></tr></table> ○雨水 工事進捗状況 雨水幹線等の整備：施工延長 178.7m 内訳：中ノ堀排水路138.7m、中里地区40m					汚水	地区	普及率		整備率		(供用開始区域人口／行政区画人口)		(整備済面積／全体計画面積)		R6	R7	R6	R7	下流東部流域	石巻	86.0%	87.2%	81.5%	85.0%	河北	61.9%	61.6%	53.3%	53.0%	桃生	53.7%	53.7%	59.4%	59.7%	計	77.5%	78.3%	72.3%	74.5%	下流流域	石巻	76.3%	77.4%	62.8%	63.8%	河南	60.6%	60.5%	54.7%	57.3%	計	73.0%	73.8%	60.3%	61.8%	単独	河北	64.0%	64.1%	67.4%	67.4%	北上	50.0%	50.9%	100.0%	100.0%	牡鹿	34.6%	34.5%	90.8%	90.8%	合 計		72.7%	73.4%	65.8%	67.5%
汚水	地区	普及率		整備率																																																																											
		(供用開始区域人口／行政区画人口)		(整備済面積／全体計画面積)																																																																											
		R6	R7	R6	R7																																																																										
下流東部流域	石巻	86.0%	87.2%	81.5%	85.0%																																																																										
	河北	61.9%	61.6%	53.3%	53.0%																																																																										
	桃生	53.7%	53.7%	59.4%	59.7%																																																																										
	計	77.5%	78.3%	72.3%	74.5%																																																																										
下流流域	石巻	76.3%	77.4%	62.8%	63.8%																																																																										
	河南	60.6%	60.5%	54.7%	57.3%																																																																										
	計	73.0%	73.8%	60.3%	61.8%																																																																										
単独	河北	64.0%	64.1%	67.4%	67.4%																																																																										
	北上	50.0%	50.9%	100.0%	100.0%																																																																										
	牡鹿	34.6%	34.5%	90.8%	90.8%																																																																										
合 計		72.7%	73.4%	65.8%	67.5%																																																																										
成果に係る評価		下水道事業は健全な都市環境に欠かせない社会資本として、汚水事業については石巻市生活排水処理基本構想、雨水事業については石巻市雨水排水基本計画に基づく整備を推進している。 汚水事業は、汚水管渠を約1.7km整備したこと及び下水道計画区域外からの流入等により、整備面積が72.70ha増加したことから、生活環境の改善や公衆衛生の向上に寄与することができた。 雨水事業は、雨水幹線の整備を計画どおりに実施したこと及び「石巻市まちづくりマップ」へ内水ハザードマップを掲載したことで浸水被害の軽減に寄与することができた。 また、令和7年度に、実施可能な生活排水処理基本構想の見直しを行ったので、令和17年度までの汚水処理施設の整備完了を目指すとともに、引き続き、市街地における浸水被害の軽減を図り、効率的に公共下水道の整備を推進する。																																																																													
(単位：円)																																																																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																																																									
	1,458,405,762		1,456,518,443	574,332,221	802,726,600	79,459,622																																																																									

予算科目	1 款	下水道事業費用	事業名		下水道ストックマネジメント（管路施設）事業						
	1 項	営業費用	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち						
	2 目	汚水管渠費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進						
	事業	汚水管渠費（下水道事業会計）		（ 7 ）	下水道等の整備を推進する						
担当部課		建設部下水道管理課		実施計画掲載ページ		P 36					
目的及び事業内容		下水道管路施設について、長期的な視点で下水道管路全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築をウォーター P P P（官民連携）により実施していく。									
取 組 実 績		<table><tr><th>業務名</th><th>概要</th></tr><tr><td>石巻市公共下水道管路施設ストックマネジメント基本計画策定業務</td><td>施設情報の収集・整理、リスクの評価、施設管理の目標設定、マンホール蓋変遷表、報告書作成</td></tr></table>						業務名	概要	石巻市公共下水道管路施設ストックマネジメント基本計画策定業務	施設情報の収集・整理、リスクの評価、施設管理の目標設定、マンホール蓋変遷表、報告書作成
業務名	概要										
石巻市公共下水道管路施設ストックマネジメント基本計画策定業務	施設情報の収集・整理、リスクの評価、施設管理の目標設定、マンホール蓋変遷表、報告書作成										
成 果		本業務では、対象施設の老朽化状況を整理し、リスク評価による優先度設定を行った上で、下水道事業の役割を踏まえ、施設管理目標を設定した。									
成果に係る評価		本市の公共下水道における管路延長は、汚水で約648km、雨水で約67km、マンホールは汚水で約20,000基、雨水で約700基あり、下水道施設を長期的な視点で管理し、老朽化対策や維持更新を計画的に実施していく必要がある。 令和7年度から着手した計画策定業務は、今年度予定した範囲までの検討が完了し、順調に進捗した。令和8年度以降も計画的に事業を進め、老朽化対策に取り組んでいく。									
(単位：円)											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入					
	32,451,000	32,450,000	16,225,000				16,225,000				

予算科目	1 款	下水道事業費用	事業名		下水道ストックマネジメント（ポンプ施設）事業					
	1 項	営業費用	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち					
	3 目	雨水排水ポンプ場費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進					
	事業	雨水排水ポンプ場費（下水道事業会計）		（ 7 ）	下水道等の整備を推進する					
担当部課		建設部下水道管理課	実施計画掲載ページ		P 35					
目的及び事業内容		改築・更新需要に対し、下水道施設全体を把握し、施設機能や財政の健全性を確保するとともに、持続可能な下水道事業を実現するためストックマネジメント事業を実施する。								
取 組 実 績		<table><tr><th>業務名</th><th>概要</th></tr><tr><td>石巻市公共下水道排水ポンプ場総合地震対策・耐水化計画策定業務</td><td>総合地震対策計画策定、耐水化計画策定</td></tr></table>					業務名	概要	石巻市公共下水道排水ポンプ場総合地震対策・耐水化計画策定業務	総合地震対策計画策定、耐水化計画策定
業務名	概要									
石巻市公共下水道排水ポンプ場総合地震対策・耐水化計画策定業務	総合地震対策計画策定、耐水化計画策定									
成 果		当該業務により、石巻市の雨水排水ポンプ場の耐震化に向けて、現状の課題を整理し、耐震診断対象施設の抽出、優先順位の整理、事業スケジュールの検討を行い、総合地震対策計画を策定した。 また、当該業務では、雨水排水ポンプ場を対象施設とし、耐水化の対象として「洪水」、「内水」及び「津波」を設定し、対策検討を行い、施設ごとの対策優先順位を考慮した耐水化計画を策定した。								
成果に係る評価		市民の生活や生命に関わる重要なライフラインである下水道は、災害時においてもその機能を確保することが強く求められており、地震対策に加え、浸水対策にも取り組む必要がある。 耐震化や耐水化を図る際には、ストックマネジメント計画との整合を図り、効率的かつ計画的に事業を行っていく必要があることから、対象となる施設の優先順位や事業スケジュールを勘案しながら、整備を進めていく。								
(単位：円)										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳							
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入				
	34,430,000	34,430,000	17,215,000		17,215,000					

予算科目	1 款	下水道事業費用	事業名		下水道接続助成事業		
	1 項	営業費用	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち		
	7 目	普及促進費		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進		
	事業	普及促進費（下水道事業会計）		（ 7 ）	下水道等の整備を推進する		
担当部課		建設部下水道管理課	実施計画掲載ページ		P 36		
目的及び事業内容		下水道供用開始区域の下水道未接続者に対し、公共下水道等に接続する際に工事費の一部を補助し、下水道接続を促進する。					
取 組 実 績		下水道供用開始区域内の浄化槽及びくみ取り便所の使用者に対し、公共下水道に接続工事をする際に20万円を上限として工事費の一部を補助し、下水道接続を促進した。 補助制度の周知に当たっては、市報やホームページでの広報活動のほか、未接続世帯に対し、個別訪問やポスティングを行い、下水道への早期接続への普及促進活動に取り組んだ。					
		○改正内容					
			改正前		改正後		
		事業名	浄化槽切替助成事業		下水道接続助成事業		
助成対象	既設の浄化槽を廃止し、公共下水道に接続した者		既設の浄化槽又はくみ取便所を廃止し、公共下水道（農業集落排水施設を含む。）に接続した者				
助成金額	上限10万円		(1) 下水道に接続できる時（処理区域において下水道が供用開始となった時）から3年以内に接続 上限20万円 (2) (1) 以外 上限10万円				
		※新制度施行後3年間は、下水道に接続できる時から3年を経過していても、（1）の助成の対象とする。					
成 果		77件の下水道への接続に対して、費用の一部を助成し、設置者の費用負担の軽減とともに、水洗化の促進が図られたものの、下水道接続率は人口減少の影響が大きく、前年度より低下した。					
		主な指標項目	R3	R4	R5	R6	R7
		助成件数	60件	89件	51件	95件	77件
		下水道接続率	77.4%	78.1%	78.7%	77.5%	77.0%
		※助成件数は、令和5年度までは浄化槽切替助成事業の実績を記載している。					
成果に係る評価		企業会計の経営に当たっては、独立採算制の原則を踏まえ、下水道使用料収入により必要な経費を賄うため収入の確保が重要であり、下水道接続率の伸び悩みが課題となっている。 下水道使用料は令和8年4月から料金改定を行い、収入の増加が見込まれるものの、有収水量の確保のため、浄化槽やくみ取り槽から下水道への接続を促進するため、本事業を継続する必要がある。 下水道接続への阻害要因のひとつである経済的負担を軽減する事業であるが、件数が伸び悩んでおり、改善策を検討する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳			
				国(県)支出金	地方債	その他	事業収入
		20,000,000	15,393,000	4,000,000		5,696,000	5,697,000